

五章ノ九

問八特別ノ教會ヲ維持セシメバ何カ規律ナルモアリヤ
答 卽チ契約上ノ規律ナルモノアリテ互ノ聯合ト交際ヲ
親密ナラシムルナリ

問九何レノ時代ヲ教會初發ノ紀元トナスヤ

答 人類ガ罪惡ニ陥リシ後直チニ其ノ元ヲ發シ卽チア
ムイブノ如キモ悔改シテ其契約ノ種卽耶穌基督ヲ信
シタリト云ヒ又アベルノ如キモ一信者ナリシト云ヘ
リ 創三章ノ三十一

問十教會ノ會員ナルモノハ如何ナル性質ヲ持ツヤ

答 慈愛アルヲ神聖ナルヲ又悔改信仰等ナリ 使八章ノ

四十七使三章ノ四十一

勸十一荷モ基督教徒ト自稱スルモノハ悉ク此等ノ性質ヲ持

答 然ラズ間ニ偽教者ナルモノアリ恐ラク現世ニアル

教會ニ在リシテ其偽教者ナキ完全ナルモノハアル

太十三章ノ四十七同八章ノ二十一、二十三、二十三

問十二現世ノ教會ニ政律ヲ設クルハ如何ナル目的ナルヤ

答 教義上ノ正理ヲ擴布シ福音ノ教義ヲ維持シ吾人ノ幸

福ト神聖ナルヲ信徒ノ信仰ヲ確立ナラシメン爲メ

弗四章ノ十一ヨリ十三同五章ノ廿七

問十三教會中ノ最モ貴重ナル教式ハ如何ナルヲナルカ

答 日ク洗禮及晚餐等ナリ 太二十八章ノ十九哥前十一

章ノ三十一、二十五

第二十九章

問一

洗禮

ハ如何ナルモナルヤ

答 基督教義中特別ノ教式ニシテ聖父、聖子、聖靈ノ名ヲ以

テ一個人ハ水ヲ澆テ行フ聖禮式ナリ 太二十八章ノ

十九

問二

此教式ハ何レノ時初メテ用ヒラレシヤ

答 基督復活後昇天ノ時ニ至ル間ニシテ此ノ教式ハモ

レ古法ヲ廢シ基督教ノ新設分境式トナリテ教會史

ノ一紀元トナレタリ 太二十八章ノ十九

問三

洗禮ハ如何ナル意義ヲ含有スルヤ

答 水ヲ澆テテ靈魂ノ罪惡ヨリ清潔ニナリシヲ表シ又聖

靈ノ威力ヲ以テ生靈ノ汚腐ヲ潔白ナラシムヲ表ス

ルモノナリ然レモ此ハ只内部ニ受ル恩惠ノ外表ノミ

ニシテ更生ノ實力アルモノニアラズ一禮式ノミ即チ

神及其授洗セシ人ノ間ニ存スル恩惠ノ外表ナリ且又

現教會ニ入會スル人ニ施行スル教會ノ大禮ニシテ聖

父、聖子、聖靈ノ嚴格ナル聖奉ト云フベシ 多三章ノ五

使一章ノ五、彼前一章ノ二

問四 如何ナル人ガ此聖禮ヲ執行スベキヤ

答 福音ノ一教師ニシテ純然タル洗禮ヲ受テ且ツ教師ト

ルニ適シタル者ガ其職威ヲ以テ執行スベキナリ

問五 其洗禮ヲ受ルハ如何ナル人物ナルヤ

答 基督ヲ信シ其從順ヲ表シ且教會ノ一員タルニ適フモ

問云然其其人カ授洗ヲ受ルニ適スル証蹟ハ何ヲ以テ見

ルヤ

答 聖書中ニテ數証即チ其信仰アル者ハ授洗スベキコ

等ナリ彼レ「コリント」ノ期ノ三千人ニ於ル如ク又

イノク、赫吏、ルサヤ及ビサマリヤノ人ノ如キチ云フ也

然ルニ此ノ數証ヲ以テ見レバ既ニ一人ト成リシ大人

ノニニマテ未ダ幼兒ニ洗禮スルヲ要証トスルニ足ラ

ザレバ其幼兒童々如キ信仰心ヲ見ルニキ無キ者ハ如

何ヤテ可ナルヤト云フニ元來此教式ハ信仰スルコトヲ

得ベキ大人ニ施ス可キコトヲ教ヘテ未ダ信仰ナキ幼兒

ノコトハ何モ説き不及ルナリ詩一篇ノ十六使ニ

章ノ四十一、同八章ノ三十八、同十六章ノ三十一、三十三
使十六章ノ十二、使八章ノ十二

問七 然ラバ其教會員及ビ信徒タルモノ、子兒ノ如キハ授

洗スルニ適フベキモノナルヤ否ヤ

答 是ノ疑案ニ對シテハ幼兒ニ授洗スルコトハ聖經中ニ命

ズル所ニアラズ又其ヲ禁ズルノ明証モアラザルヲ知

ルコト肝要ナリ故ニ契約ニ入りシ信徒ノ子兒ニ授洗ス

ルコトニ至テハ種々ノ議ス可キモノアリ

第一 昔シ神アブラハムニ爲シ玉ヘル聖約中ニ割禮

ノコトアリ其割禮ハアブラハムハ勿論其子其子孫ニ及

ビ又其信仰ニ由テ子孫ノ子孫ニ及ボシ苟シクモ猶太

人ノ男子ハ其聖約ヲ受テ割禮ノ式ヲ行ヘリ其ユリ割

禮ハ變化シテ耶穌教ノ洗禮トナリ苟モ耶穌教ヲ信ズ
 ルモノハ男女ノ別ナシ該禮ヲ受ケ來レリ故ニ耶穌教
 ノ洗禮ハ猶太教ノ割禮ニ相對シテ既ニ猶太人ノ子兒
 ハ其割禮ヲ受ケタルハ今日耶穌教ヲ信ズル吾人ノ子
 兒同關係ヲ以テ其子兒ノ授洗ヲナスハ不可ト云フベ
 キニハアラザルナリ 創十七章ノ七、九、十、十一、十二、同
 十七章、二十六、二十七、同二十一章ノ四、羅十五章ノ八、創
 三章ノ七、十七、二十九、羅四章ノ十一、十六、使十二章三十
 八、三十九、羅十一章十六ヨリ二十、弗三章ノ六、耶三十
 ノ二十、哥前七章ノ十四、加三章ノ二十八
 第二 基督自カラ嬰兒ニ爲シ玉ヘル行蹟ヲ以テ知ベ
 シ即チ十二使徒嬰兒ノ耶穌ニ近寄ヲ見テ是ヲ禁シク

ル時耶穌ハ却テ使徒ノ無禮ヲ戒メ基督自カラ手ヲ延
 ベテ幼稚ヲ近附ケ且彼等ヲ惠ミテ如斯キモノコソ天
 國ノモノナリト云ヒ玉ヘリ是ニ由テ是ヲ觀レハ子兒
 ニ授洗スルコトハ不當ト云フ可キニアラザルナリ
 路十八章ノ十五、十六

第三 使徒ノ行蹟ヲ見テ知ル可シ即チ獄吏、ルデヤ及
 ビステパナ等ノ全家ニ洗禮ヲナストアリ万一此家族
 中ニ嬰兒等アリテ一個人ニテモ除キテ授洗セザリシ
 コトノアリシナレバ全家族云々ノ語ハ不當ノコト云
 フベシ故ニ其家族中ニ嬰兒アリテ同シク共ニ授洗セ
 シトセバ今日ノ幼兒モ授洗スルコト不當ト云フ可
 カラザルナリ 使十六章ノ三十三、同十六章ノ十五

哥前一章ノ十六
 第四 幼兒授洗ノコニツキ往古ノ記録中ニ確タル記
 録ハ無レ正有各ナル歴史家ウオール氏ノ説ニ由レバ
 基督後一千年間ハ幼兒ノ授洗ニツキ世ノ公論中ニ別
 段ノ反對論モナク授洗シ來リシモノト云ヘリ
 第五 基督在世ノ時ヨリ今日ニ至ル迄授洗セシ者ハ
 悉ク大人ノミナリシトハ積極ノ確証スベキモノナシ
 故ニ幼兒ノ授洗ヲ嫌フハ理ノ當ナルモノト云フ可カ
 ラズ又前論ノ數証ヲ以テスレバ幼兒ノ授洗ヲ拒絶ス
 ル議論ハ殆ト消滅シタルモノト云ハザルヲ得ズ
 問八 既ニ教會ノ會員トナリ居ル家族中ノ首領ナル者ハ其
 ノ政治内ニアル子兒ヲ供ヘテ授洗スルハ正當ナルモ

ノナルヤ
 答 然リ猶太人ノ古法ニテモ其子ヲ割禮スルコトハ最モ重
 シテ怠クラザリシ如ク耶穌教徒ガ其子兒ニ授洗スル
 ハ最モ其當ヲ得シモノニシテ怠タル可ラザル義務ナ
 リ 創十七章ノ十二、十三、二十六、二十七
 問九 子兒ニ授洗ヲ施シテ如何ナル益ノアルヤ
 答 子兒ニ授洗スルハ彼ノ規法ヲ以テ子兒ニ割禮ヲ行フ
 如キノ利アルノミナラズ其大人ニ授洗スルノ利アル
 如ク亦子兒ニモ利アルナリ且ツ其利益ヨリモ神ノ命
 ヲ玉フコトナレバ怠ル可ラザル義務ナリ然レ正其子兒
 ニ授洗スルハ子兒ノ義務ニアラズシテ其両親タルモ
 ノ、行フベキ義務ナリ故ニ神命ニ順フコト最モ先

ズベキコトニシテ其利益ノ有無ニ至ツテ抑モ末ナリ而シテ其子兒ノ授洗ヲ蔑視スルハ恰モ彼ノ割禮ノ大禮ヲ蔑視スルト同論ニシ其不義タルコト固ヨリ明々ナリ前論ヲ以テ見レバ子兒ヲ授洗スルハ最モ神ノ嘉シ玉フ所ニシテ曾テ經驗家が其授洗ニヨリテ實益ヲ見ルコト許多ナリ

問十 斯ノ如ク其子兒ニ授洗スルノ大禮ヲ以テ神ニ奉供セシ兩親タルモノハ特別ノ責任ヲ持ト云フベキカ

答 最モ然リ已ニ神前ニ聖約ヲ立テ其子兒ノ爲ニ祈禱シ又教育スベキコトヲ誓ヒシナレバ其子兒ノ永生ヲ受クベキ様ニ養育スルノ大任アリ

問十一 其ノ洗禮ヲ施スベキ方法ハ如何

答 授洗ノ法ニツキ聖經ヲ研究スルニ浸禮、澆水、沈水ナドノ定則アルコトナシ如何トナレバ其洗禮タルヤ其方法

ニアラズシテ只洗禮セヨト命シタマウノミ 賽十二
章ノ十五、結三十六章ノ廿五、來九章ノ十四、同十章ノ廿二、同十二章ノ廿四、彼前一章ノ二

問十二 洗禮ノヨバチヲナセシ「バプテスマ」ハ耶穌教ノ「バプテスマ」ト同性同質ノモノナルヤ

答 然ラズヨハチハ聖父、聖子、聖靈ノ名ヲ以テナセシニアラズ只改悔ノ「バプテスマ」ノミナリ耶穌ニ洗禮ヲナセシハ祭司タルノ名義ヲ以テ行ヒシコトニテ聖三一ノ名ヲ以テナセシニアラズ又耶穌ニハ固ヨリ罪トテアラザレバ改悔ノ洗禮ニモアラズ只一祭司トシテ基督ニ

洗禮セシノミ故ニ基督ハ三十歳ノ齡迄洗禮ヲ受ケザ
 リキヨハテハ預言者中ノ最後ノ者ニシテ又基督ノ案内
 者タリ是ニ由テ是ヲ觀レバヨハテノ洗禮ハ耶穌教前
 ノモノニシテ基督ノ命ヲ給ヘル洗禮トハ別種ノモノ
 タルヲ明白ナリ 使十九章ノ二、三、可一章ノ四、太三章
 ノ十四、十五、同三章ノ一、二、出廿九章ノ四、創三章ノ十九
 民四章ノ三

問十三聖書中ニ記載アル基督教ノ洗禮ノ最初ハ何時ナリシ
 ヤ

答 「ペンテコステ」ノ期ニ使徒等ノ教ヲ聞キテ改悔セシ
 三千人ノ洗禮ナリ 使二章ノ四十一

問十四彼等ハ如何ナル方法ニテ「バプテスマ」ヲ受ケシヤ

答 其水ヲ漑カレテ洗禮ヲ受シハ最モ信ズベキナリソハ
 彼等其時首府エロソルマニアアリテ其ノエロソルマハ
 山上ノ一都府ナレバ池或ハ川海ナク只シロアムト云
 ヘル一小泉ノ外他ニ水アラザリシナリ又其時授洗ノ
 爲ニ殊更ニ衣類等ヲ衣替ヘシ「杯」モ決シテアラザリ
 シナラン

問十五使徒パウルハ如何ニシテ「バプテスマ」ヲ受ケシヤ
 答 パウルハ「ダマス」コノ都ニテ一猶太人ノ家ニテ「バプテ

スマ」ヲ受ケシナレバ其水ヲ漑ガレテ洗禮ヲ受ケシハ
 最モ明ナリ 使九章ノ十一、同二十二章ノ十六

問十六彼ノ獄吏ト其家族ハ如何ニシテ洗禮ヲ受ケシヤ
 答 彼等ハ夜中獄舎ノ郭内ニアル私邸ニテ授洗セシ「コ

エ其ノ水ヲ澆ガレテ授洗セシハ亦明ナリ 使十六章ノ三十、三十三

問十七彼ノユルチリオノ授洗ハ如何

答 其時ペテロノ陳ベシ語氣ヲ以テ見レバ同シク水ヲ澆テ洗禮キレシハ信ズベキナリ 使十章ノ四十七、四十八

問十八水ヲ澆グコトハ授洗法ノ當ナルモノナルベシトノ例証ハ其他ニナキヤ

答 種々アリ其一ニ云ヘバ神ノ會堂ハ公衆ノ奉崇處ナレバ會堂ニ於テ是ヲ行フハ最モ然ルベキコトナリマダ是ヲ會堂中ニテ行ハントスレバ其澆水法ハ最モ簡ニシテ法ニ適ヘルコトナリ又授洗セシ爲メ態々會堂ヲ出

テ、他處ニ行キシ明証ハ聖經中ニ非ザレバ其會堂ニテ授洗セシハ必ズ澆水法ナリシカト想像スルヲ得ベシ又此ヲ川池杯ニテ浸禮或ハ沈禮セントセバ彼ノ國土ノ模様ニヨリテ水ノナキ地方ハ最モ不便ナリ又病人ノ如キハ決シテ水中ニ浸禮或ハ沈禮スベカラザルモノ、如シ是ヲ以テ他ヲ推セバ其ノ澆水ノ簡ニシテ便ナルコトハ他ノ方法ノ及バザル處ナレバ此ク一般ニ行フベキ法ニツアル

問十九聖禮ハ時機ニヨリテハ再ビ行フベキコトナルヤ

答 然ラズ聖書中ニ再ビ授洗スルコトノ命アルコトナシ故ニ假令幼年ノ改悔心ナキ時ニ兩親ノ信仰ヲ以テ授洗セシ者ガ其生長シテ自カラ改悔スルニ再ビ授洗スルハ

正當ナラザルナリ

問二十是ノ授洗法ノ意見ニ種々ノ差違アル處ヨリ會員チノ意見ノ違フ他教會ト交際スルチ制禁スベキ者ナルヤ
答 然ラズ此問題タルヤ耶穌教一般ノ主義ニ反スルノミナラズ神命ニ逆レルモノナレバ決シテ然カスベカラズ
哥前十章ノ十七、同十二章ノ十二、十三

第三十章

聖晩餐ヲ論ズ

問一 聖晩餐トハ如何ナルコト云フヤ
答 基督ノ苦痛ト死チ記念スル爲ノ聖禮式ナリ
問二 其聖禮式ヲ始メテ行ヒシハ誰ニテ又何レノ時ヨリ始マリシヤ

答 基督罪人ノ手ニ渡サレ玉フ當夜基督自カラ組織シ玉

フモノナリ 哥前十一章ノ二十三ヨリ二十五

問三 其禮ハ如何ナルモノチ用ヒテ禮ヲ守ルヤ

答 パン及葡萄酒ナリ 哥前十一章ノ二十三ヨリ二十五

問四 其パン及葡萄酒ハ何ニ形取ルモノナルヤ

答 パンハ基督罪人ニ代テ十字架ノ刑ニ舉リテ死シ玉ヒ

シ肉チ表シ其汁ハ其血チ表スルモノナリ 哥前十一

章ノ二十三ヨリ二十五

問五 其パン及ヒ汁ハ聖晩餐ノ期ニ耶穌ノ實血、實肉ト化ス

ルモノナルヤ

答 然ラズ只血ハ肉チ表ハス迄ノモノナリ故ニ其實肉、實血ト配スルト教ユル教義ハ最モ迷信ト云フベシ

問六 其聖禮式ヲ何ト名稱スルヤ

答 聖晚餐ト云フナリ其意ハ基督ノ義死ヲ紀念セン爲ニ
パント汁ヲ味ヘバナリ

問七 其聖式ノ目的及ヒ性實ハ如何ナルモナルヤ

答 基督ノ死及其慈愛ヲ紀念シ又ハ我輩ノ罪人タルヲ深
ク感銘センヲメナリ而シテ是ヲ行フハ基督ノ再顯ノ
期ニ及フナリ コリント 哥前十一章ノ二十五、二十六、同十章ノ
十六、十七

問八 吾人ハ其式ヲ奉守スル義務ノ存スルモノナルカ

答 神ニ奉謝シ及ヒ吾人ノ利益ノメ又ハ基督ノ聖命ヲ
順奉シ及ヒ使徒等ノ行ヒシヲナレバ吾人ノ最モ守ル
ベキノ義務ナリ 詩百十六ノ十二、十三、太十章ノ三十

二、三十三、路二十二ノ十九、使二十章ノ七

問九 如何ナル人ガ聖パン及聖汁ヲ受ベキヤ

答 發狂人、不信者及改悔ナキ人ノ他ハ男女ヲ論セズ信徒
ノ受ベキモノナリ 出十二章ノ四十八、賽四十四章ノ
五、太十章ノ三十二、三十三、哥後六章ノ十四、十五、十六、詩
五十篇ノ十六、箴十五章ノ八

問十 吾人ガ聖餐ノ食臺ニ臨ム時ハ如何ナル意思ヲ持ツベ
キヤ

答 吾人ハ確手タル信徒ノ一人ニシテ聖靈ノ更生ヲ得タ
ルヲ確思スルヲナリ

問十一 其晚餐ヲ吾人ハ如何ナル様ニテ受クベキヤ
答 信仰、謙遜、恩謝、希望、喜悅及ヒ兄弟ノ愛等ヲ持ツベキ也

問十二 教會ハ其聖晩餐ヲ守テ基督ノ死ト苦痛ヲ紀念スル心ヲ信徒ニ感シ起サスルニ如何ナル方法ヲ用ユルヤ

答 聖餐ヲ守ル先ニ其禮ニ適スル講説ヲ爲テ信徒ニ感覺心ヲ生セシムルナリ此ハ最モ有益ノコトニシテ缺クベカラザルモノナリ

問十三 宜シキニ合ハズシテ聖餐ヲ守ルハ如何ナルコトナルヤ

答 聖餐ノ何タルヲ辨知セズ又其救主ノ性質及ビ恩恵ヲ輕視シテ是ヲ食スルハ宜シキニ合ハザルコトニテ信徒タルノ義務ニ缺ク且罪ト云フベシ

問十四 然ラバ宜キニ合ハズシテ聖餐ヲ守ル結果ハ如何ナルコトナルカ

答 聖餐ノ主ノ喜ビ玉ハザルコトニシテ自カラ罪ヲ招クモ

ノナリ然レモ是ノ罪ハ悔ヒ改ムルコトニヨリ赦サレズト云フニハアラズ コリント 哥前十章ノ二十一、全五章七、八、二十七、二十九、三十、三十四

問十五 聖餐式ヲ主司スルハ誰ガ任ナルヤ

答 教會ノ牧師ニシテ最モ主基督ノ名義ヲ以テ其職務ヲ行フコトナリ

問十六 其禮式ヲ行フ法式ハ聖書中如何ナル記載アルヤ

答 第一 祈禱ヲ以祝謝シパンヲ分テ信徒ニ分與スベシ
第二 葡萄汁モ祈禱ヲ以祝謝シ後信徒ニ分與スベシ
第三 唱歌ヲ以テ讚美スルコト等也又此義ニツキ確タル記載ハ無レモ會ノ終ニ臨テ牧師ノ祝禱ヲ爲ハ最モ當テ得タル者ノ如シ コリント 太二十六章ノ二十六ヨリ三十

問十七如何ナル形狀ニテ聖餐ヲ守ル可キカ

答 其形狀ニ至ツテハ各會ノ意見ニ從フベシ然レモ天主
教ノ如クパン及ヒ汗ノ前ニ跪キパン及ヒ汗ヲ偶像視ス
ルハ迷信ト云フベシ

問十八聖餐ヲ守ルハ何時ヲ適宜トスルヤ

答 此問題ニツキ聖書中ニ明示ナシ故ニ各見込ニ從フテ
朝ナリ夕ナリ適宜ノ時ニ守ルベシ最モ守ルベキ時ハ
吾人ノ目的トスルモノニアラザルナリ

問十九聖餐ハ幾度守ル可キヤ

答 聖餐ヲ守ル度数ニ至ツテモ聖書ハ明示セズ是モ教會
ノ便宜ニ從フテ然ルベシ昔十二使徒創業ノ際ニハ一
週ニ一度行ナヒシモノ、如シ然レモ今日ニアツテハ

一ヶ月ニ一度或ハ二月ニ一度ヲ一般適度トスルモノ
、如シ 使二十章ノ七

第三十一章

大平萬歲ノ期ヲ論ズ

問一 大平萬年トハ如何ナルコトナク云フヤ

答 神ノ教會充分ニ進歩シ地上ノ諸民萬歲ト唱フ時ヲ云
問二 其時ノ必ラズ有ルベキハ何ヲ以テ証スルヤ

答 神ノ約束ヲ以テ証スルナリ 黙二十章ノ二、三、詩二篇
ノ八、馬^{イラカ}一章ノ十一、但^{タニエル}二章ノ三十四、三十五、黙十一章ノ
十五、詩七十二、八ヨリ十一迄、賽二章二

問三 其ノ萬歲ノ形体ハ如何ナルモノカ

答 第一 聖靈ノ著シキ降臨アルコト

第二 神ノ榮光大ニ顯レ昏盲ト迷信ハ地ヲ拂ニ至
 第三 四海兄弟タルノ親情顯シ大平快樂ノ時ト成
 第四 宗教上ノ主義ト教体ニ關シテ大ナル一致ノ出
 來ル
 第五 大ナル快樂ト幸福ヲ受ル時トナル
 第六 世上ノ人民自ラ神ヲ敬シテ福音ノ教化ニ入
 第七 世ノ人民多ク教ヲ信シ基督ノ救ヲ得ル
 九十四章ノ三、四、五、耶卅一章ノ卅四、賽二十五章ノ七、同
 三十章ノ二十六、同二章ノ四、同十一章ノ六、ヨリ九、弗四
 章ノ五、十三、十五、賽二十五章ノ六、同五十五章ノ十二、亞
 八章ノ十二、賽三十三章ノ二十四、同三十章ノ二十三、創
 九章ノ一

問四 其ノ萬歲ノ期トハ基督及始メテ蘇生セシ諸聖徒ト共
 ニ世ヲ管治シ玉フノ時ナルヤ
 答 然リ然レニ基督及諸聖徒ガ此世ニ現レ來ルト云フ期
 ニハアテズ只基督ノ靈及諸聖徒ノ靈ガ現世ニアリテ
 著シク榮光ヲ顯ハシ玉フヲ云フナリ 黙二十章ノ四
 五、六
 問五 其期ノ信徒ハ悉ク完全ニシテ聖且罪ノナキ者ナルヤ
 答 然ラズ然レニ今日ノ吾人ノ有様ヨリハ遙カニ上ナル
 べシ 傳七章ノ二十
 問六 其期ニ生誕シ來ル子兒ハ今日ノ如ク罪ノ遺傳スベキ
 モノナルヤ
 答 然リ現世ノ人類ハ何人ヲ論セズ皆罪ヲ遺傳スルナリ

約三章ノ六

問七 其ノ期ハ歎キ悲ミナドノ痛歎ハナキヤ

答 多少ノ苦難、艱難ハアルベキナリ 伯十四章ノ一

問八 其期ニ至ツテモ福音ノ講説或ハ聖晚餐等ハ入用ナリ

ヤ

答 然リ福音ノ講説、聖晚餐及洗禮式ノ如キハ今日ノ如ク

入用ナルベシ 太二十八章ノ十九、哥前十一章ノ二十

六

問九 其期ハ何時ヨリ初マルヤ

答 吾人ノ確答スベキモノコアラザルナリ

問十 其期ハ凡ソ何年繼續スルヤ

答 確然ト答フベキモノハアラザレモ或ル説ニヨレバ一

千年間ト云ヒ又他説ニ由レバ永遠無定ノ期ト云ヘリ
然レモ是ヲ最モ明量ニ判決スルハ預言ノ應スル時ニ
至テ明白タルベシ

問十一 如何シテ其期ニ至ルヤ

答 神ノ使役中ニ存スル吾人ノ勉勵ト神ノ恩恵ニヨル也

問十二 然ラバ今日ノ吾人ハ如何シテ其期ヲ待ツベキカ

答 聖書ノ研究、教育、傳道、日曜學校及聖書類書ノ出版等ヲ

ナシテ吾人ノ職務ヲナスベキナリ

問十三 其期ノ來ラントスル時ニ臨ンデ如何ナルコトアルヤ

答 約ノ預言中ニアル如クサタナハ少シク自由ヲ得ベシ

黙二十章ノ七、八

問十四 聖書中ニアルサタナヲ解キ或ハ縛ルトハ如何ナル意

義ナルヤ

答 卽チ神ノ權力ニテ縛ラレ又ハ少シク解カレテ所謂ル

保釋ノ自由ヲ得ルヲ云フナリ 默^{モクシ}二十章ノ七八

問十五此ノ年期ノ終ニ至テ如何ナルコノアルヤ

答 萬物消滅スルニ至ルベシ

問十六其期ニ向テ吾人信徒タルモノハ如何ナル義務ノアル

モノナルヤ

答 其ヲ希望シ其ノ爲ニ祈禱シ或ハ其日ノ來ラシコノ爲

ニ吾人ハ種々ニ力ヲ盡スベシ

神學入門終

明治十七年十月十日出版御届
同 三十日 出版

*** 定價三拾錢 ***

譯述人

本間重慶

大坂府西區土佐堀裏町廿一番地

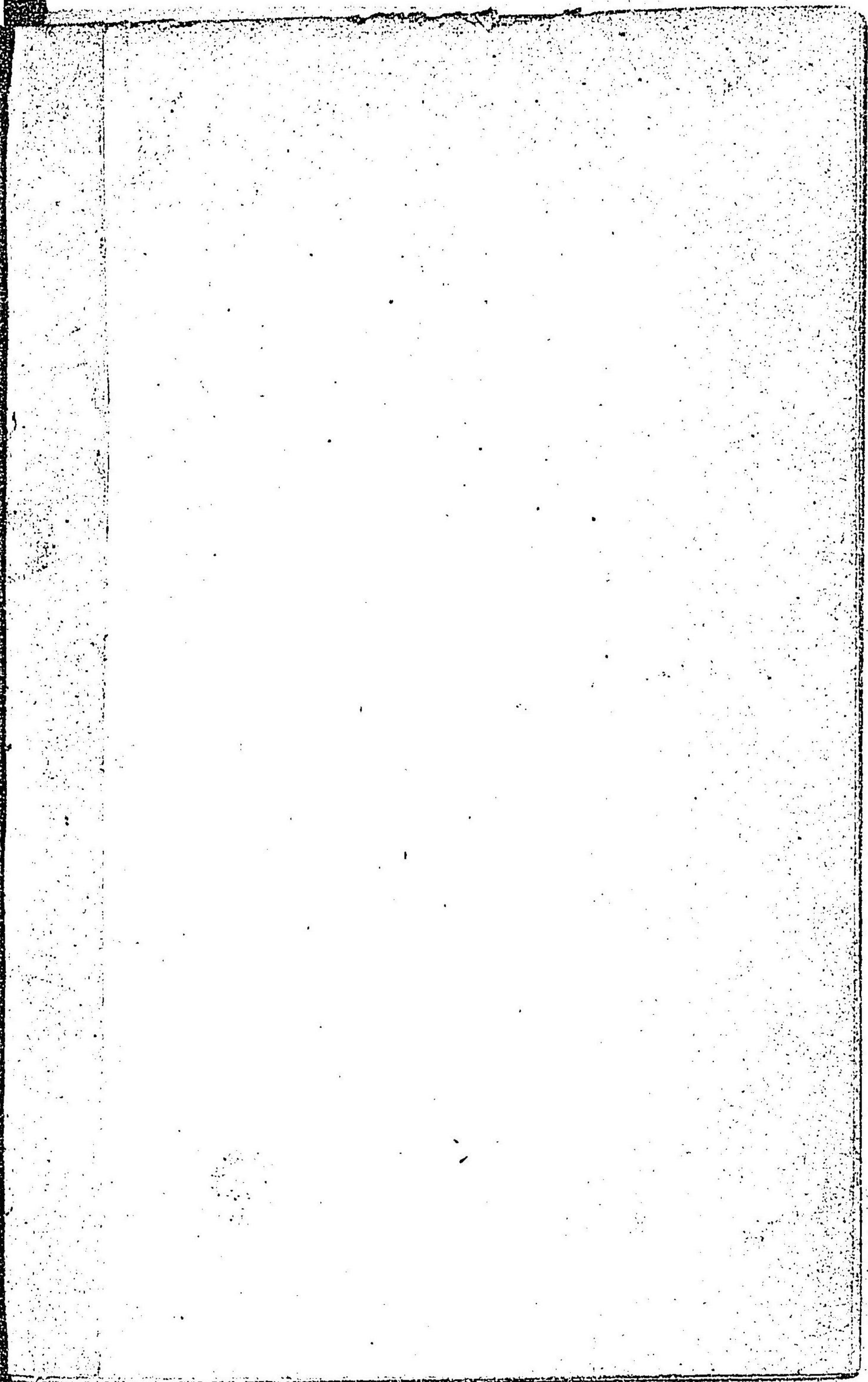
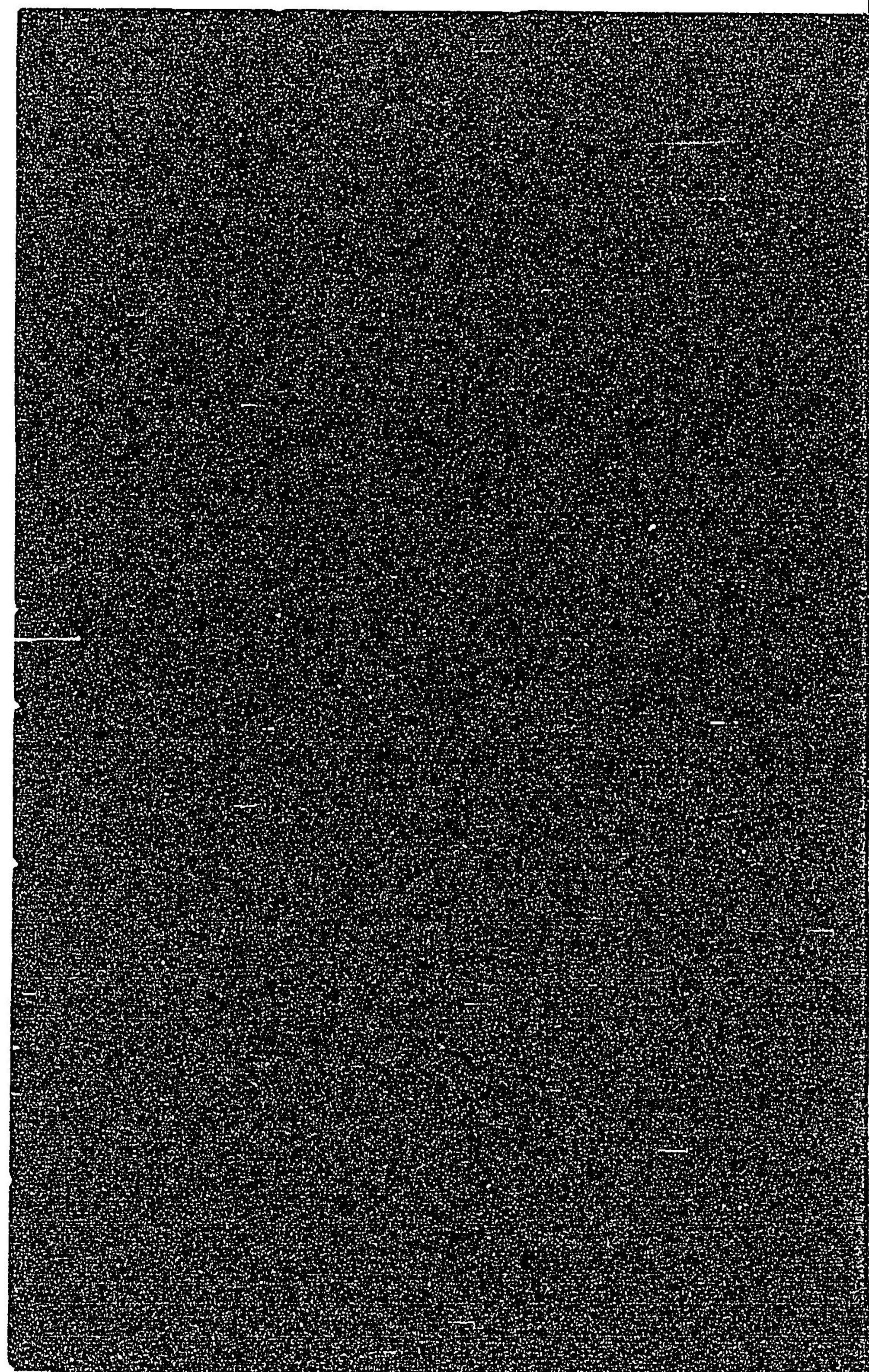
出版人

今村謙吉

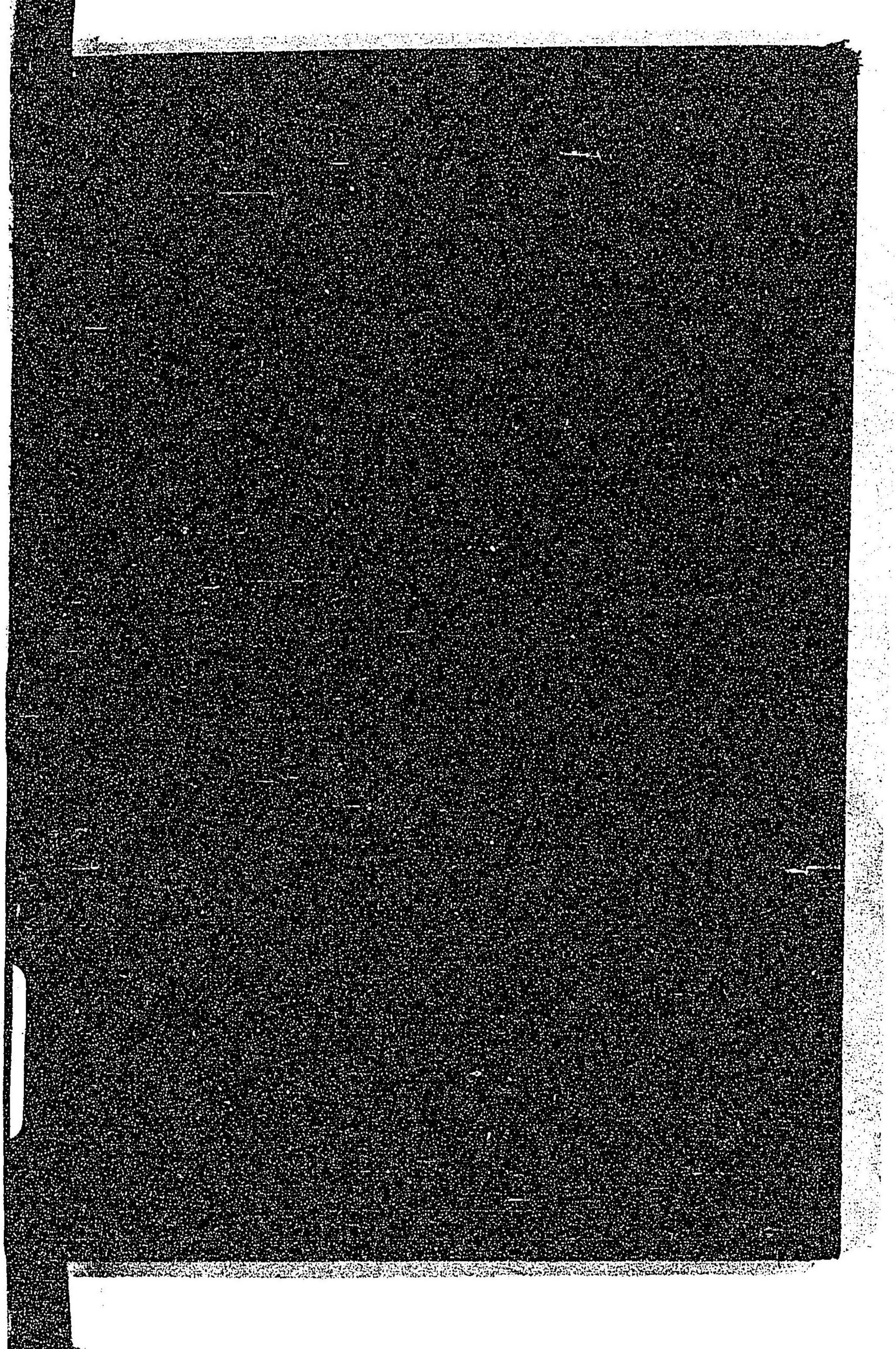
兵庫縣士族

大坂府西區土佐堀三丁目八番地





32
157



32

157

020775-000-1

32-157

神学入門

エ・デー・ヘール/著

M17

ABI-0600



